

青梅労働基準監督署管内における転倒災害の分析（社会福祉施設編）

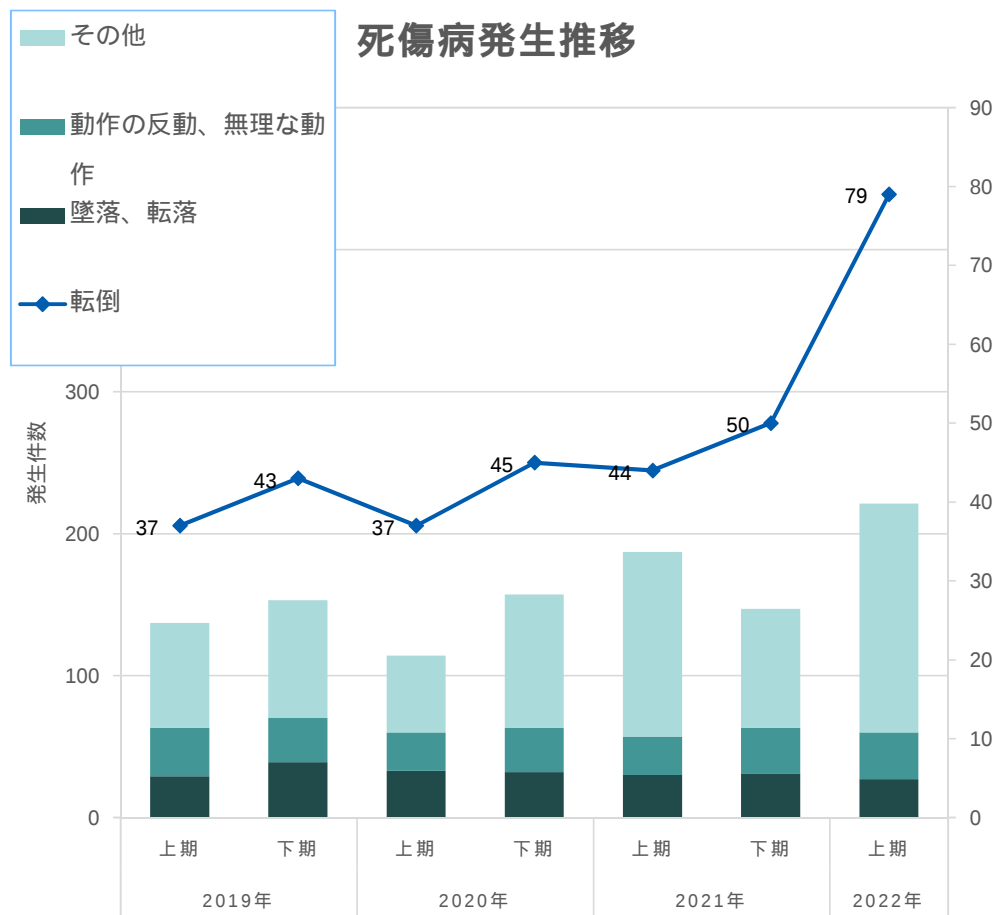
令和4年1月～6月

東京労働局

青梅労働基準監督署 安全衛生課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

転倒災害分析について



●調査の目的

青梅労働基準監督署管内における労働災害の発生推移から転倒災害が多発・増加傾向であることがわかる

転倒災害の発生状況及び原因等の詳細を分析し、それを踏まえ有効な防止対策について検討する

●調査の対象

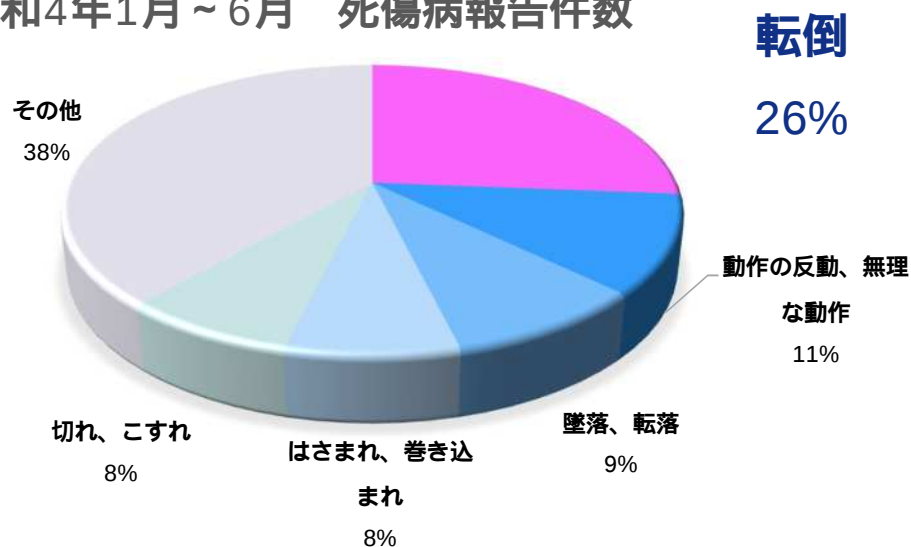
青梅署管内において令和4年1月から6月に発生した休業日数4日以上労働災害について、事故の型が「転倒」となっているものを対象とする

転倒災害分析を 課題・問題・解決・効果 の順で展開する



課題

令和4年1月～6月 死傷病報告件数



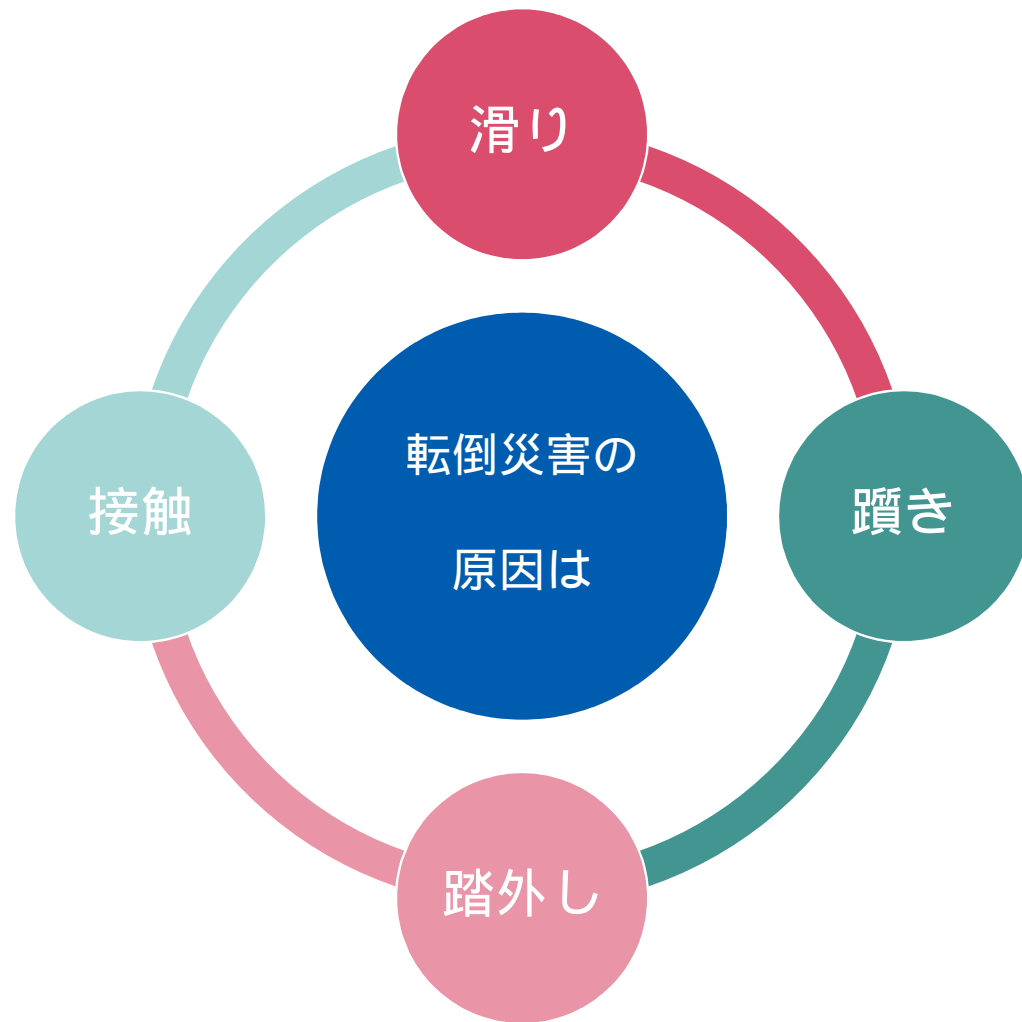
- 青梅労働基準監督署管内において「転倒災害」が最も多く26%を占めている

令和4年1月～6月 死傷病発生事業所



- 発生事業所の内訳では「社会福祉施設」が最も多く34%と突出している

なぜ転倒災害が減らない



管内の転倒災害の原因は

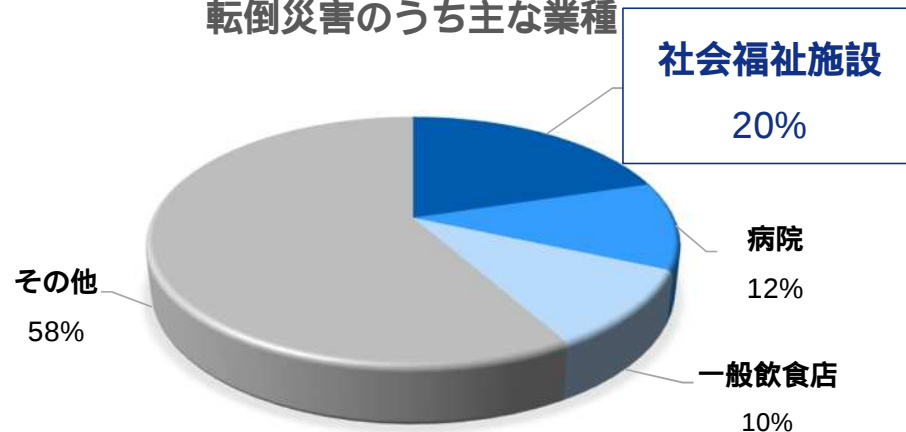
滑り	床自体滑り易い素材、凍結の状態、床面に水・油は飛散している状態や、異物が落ちている状態など
躓き	床が凸凹や段差、床に放置されている荷物や商品などによる
踏み外し	大きな荷物を抱えるなど足元が見えない状態での階段の昇降など、加えて加齢による運動機能の低下により、わずかな滑りで躓くなど
接触	人と接触、人をよけるなど焦り、見落としなど

の4つに大別できる

これを踏まえ、原因分析する

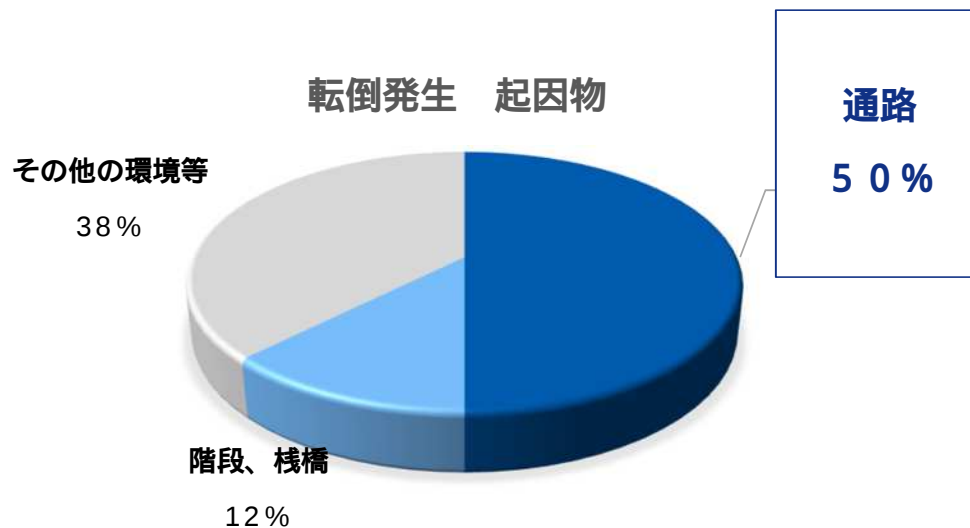
転倒災害の原因は何か

転倒災害のうち主な業種



転倒災害を業種別に絞ってみると「**社会福祉施設**」が20%と最も多く、転倒発生の起因するものとしては「**通路**」が過半数を占めている

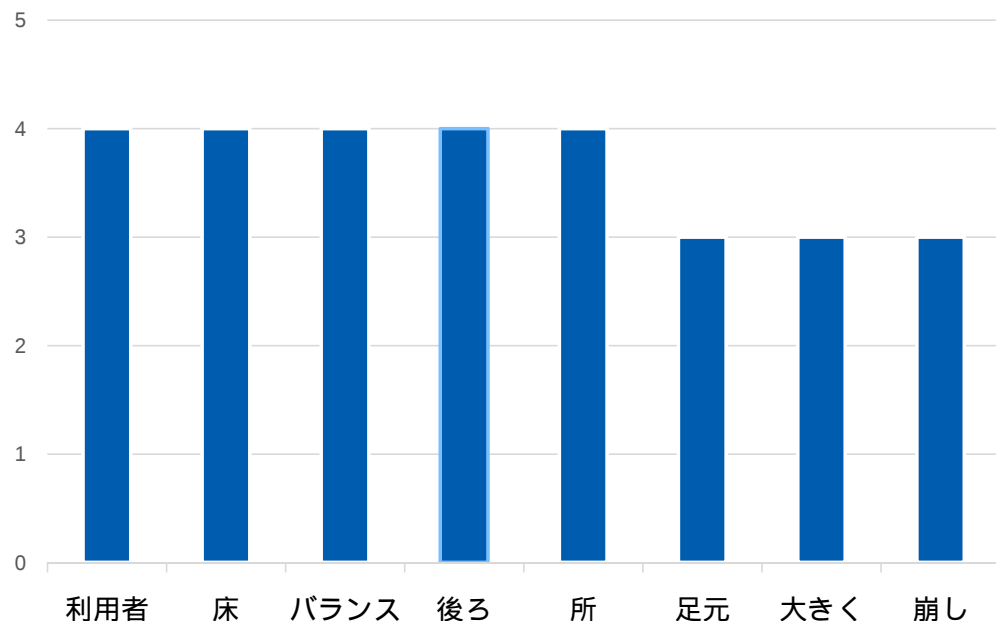
転倒発生 起因物



「**通路**」が転倒災害多い要因を次ページ以降詳細に分析する

社会福祉施設における転倒災害発生状況を原因報告内容から分かち書き分析

原因報告分かち書き 出現回数

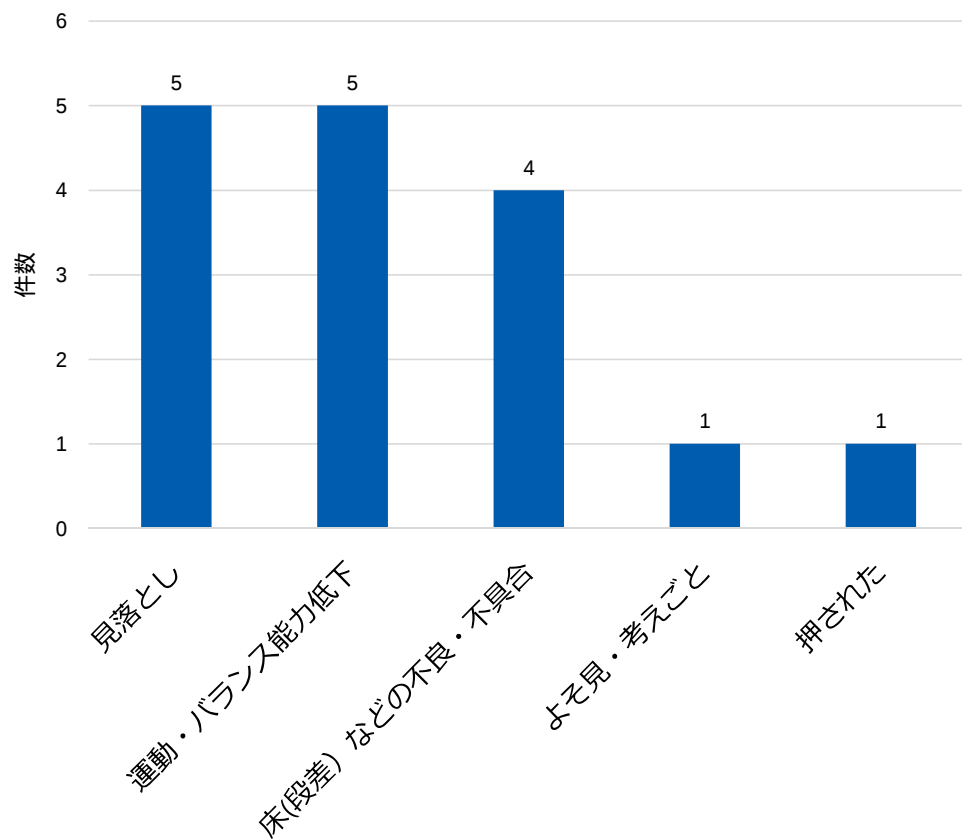


労働者死傷病報告の記述内容から文字分解し、出現した上位区切り文字を分析した

「社会福祉施設」特有の利用者との関連性（誘導、介助、攻撃）、また通路などの床面問題、加齢によるバランスを崩すなど直接・間接的な問題を含んでいることが読み取れる

主な発生原因を分析

主な原因



転倒災害の発生原因を以下の分類により

見落とし

運動・バランス能力低下

床（段差）などの不良・不具合

身体の不調

心の不調

急いでいた(走った)

よそ見・考えごと

手順の省略・近道

禁止事項

身体機能の衰え

押された

集計した結果、左図のとおり、

「**見落とし**」、「**運動能力の低下**」、「**床不具合**」
の順となっている

なぜ転倒災害が多いのか？

分かち書き集約、ならびに発生原因から次の3つに集約できる

通路上での床(段差)などの
不良・不具合

運動・バランス能力低下

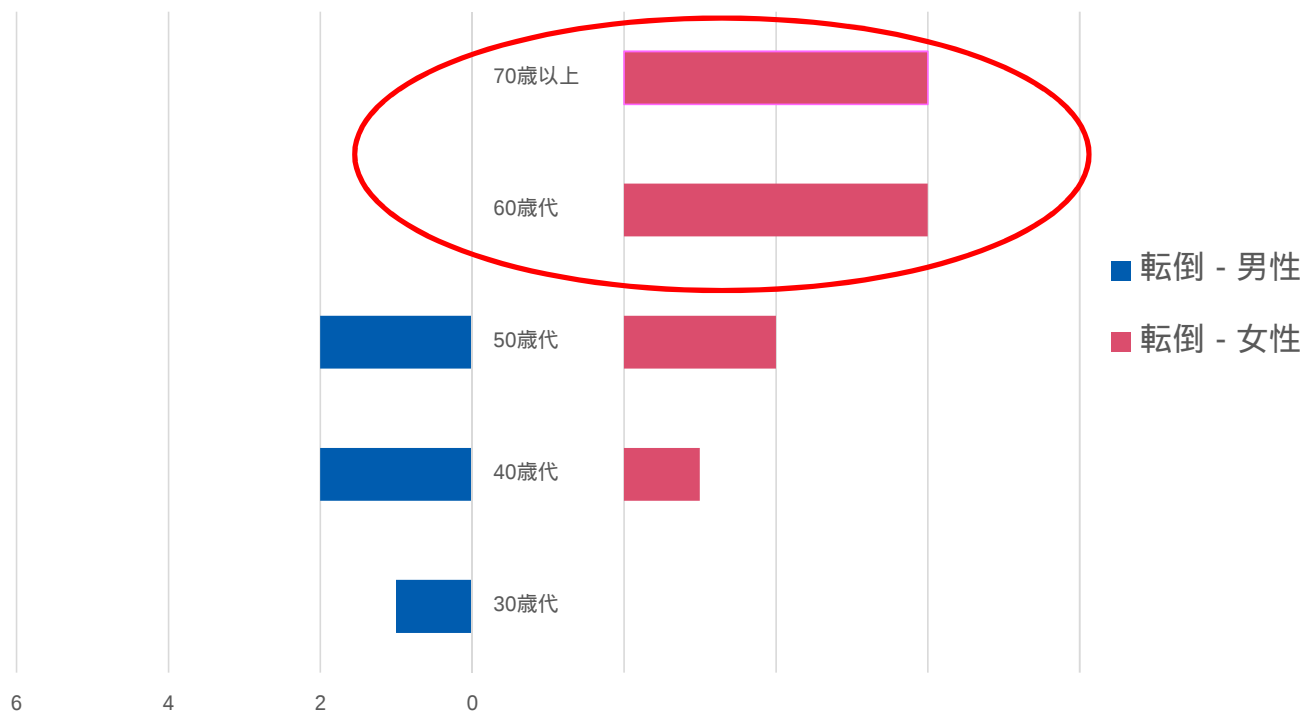
見落とし

- 要因分解

1. 男女別・年齢別の発生状況
2. 発生要因・年代別
3. 起因別・要因別 発生要因
4. 経験期間別の発生状況
5. 男女別・年代別休業日数

1. 男女別・年齢別の発生状況

男女別・年齢別 発生件数



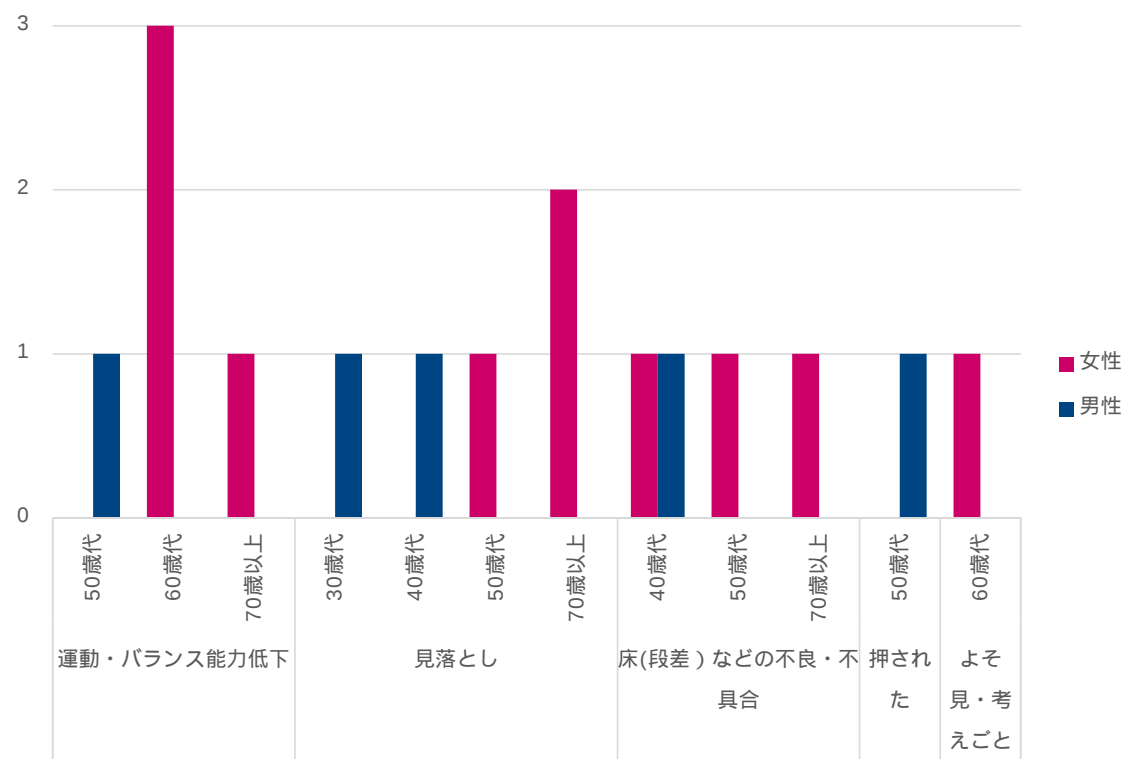
男女別の割合は、男性が31%、女性が61%で、女性労働者の比率が高くなっている

また年齢別では60歳以上の中高年齢労働者が50%を占めており、

特に**高齢者・女性**の比率が高いことが顕著となっている

2. 発生要因・年代別

発生要因・年代別



発生要因は年齢に関係なく

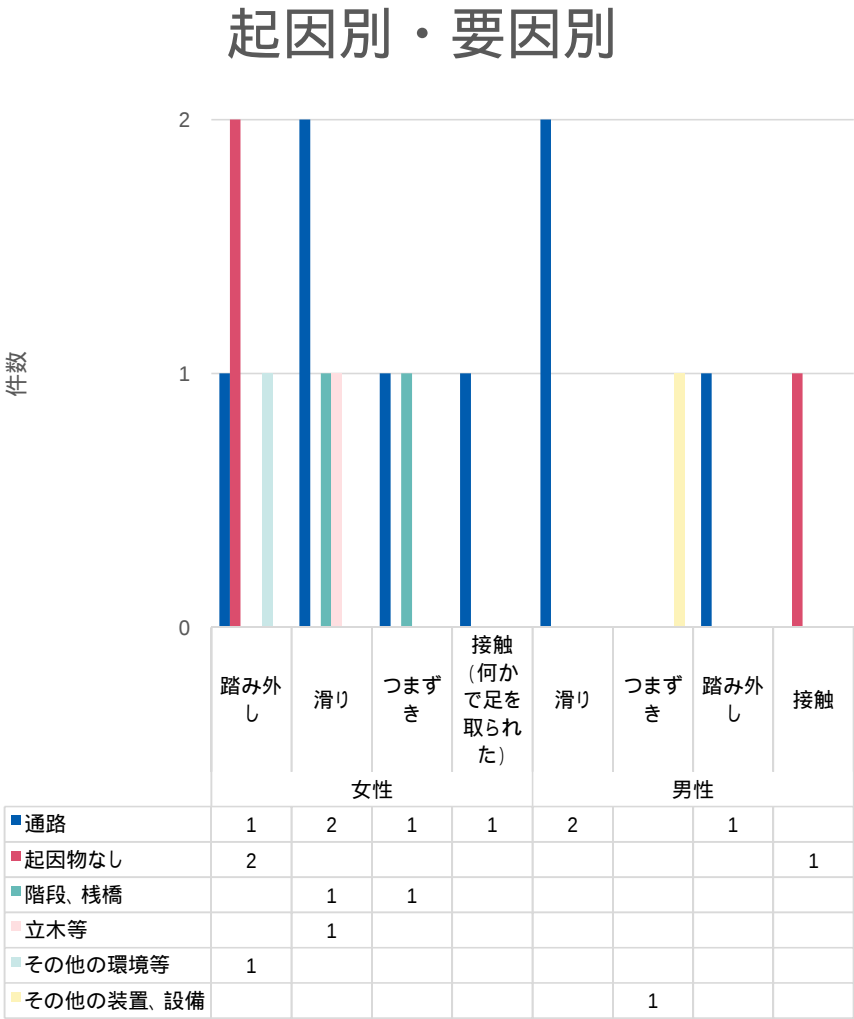
「運動・バランス能力低下」

「見落とし」

「床等の不良・不具合」

と全般的にあり、**高齢者**に集中している

3 . 起因別・要因別 発生要因



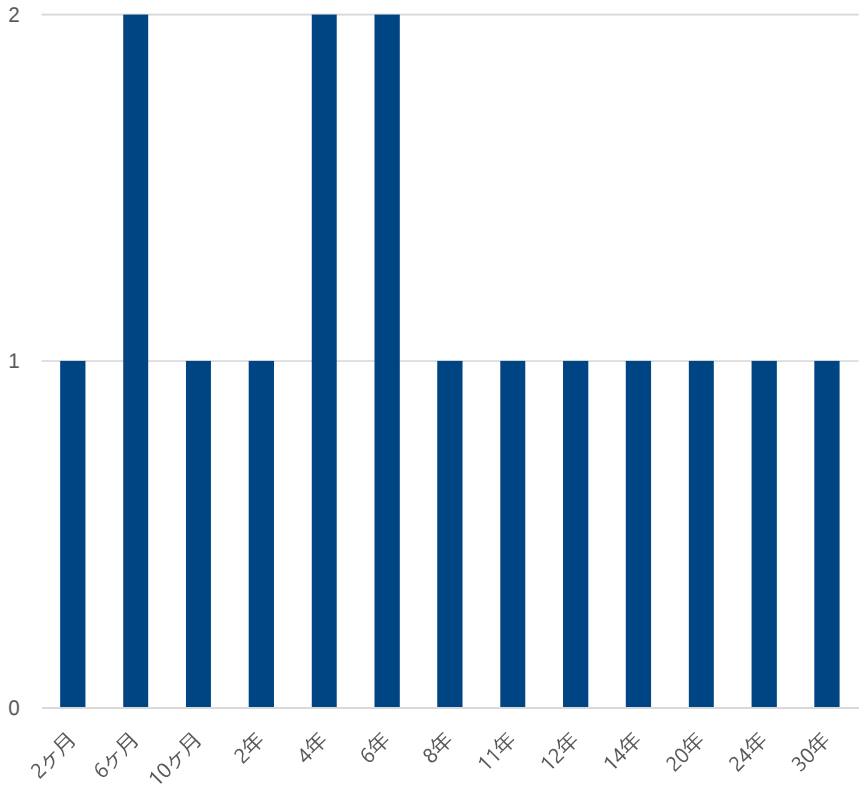
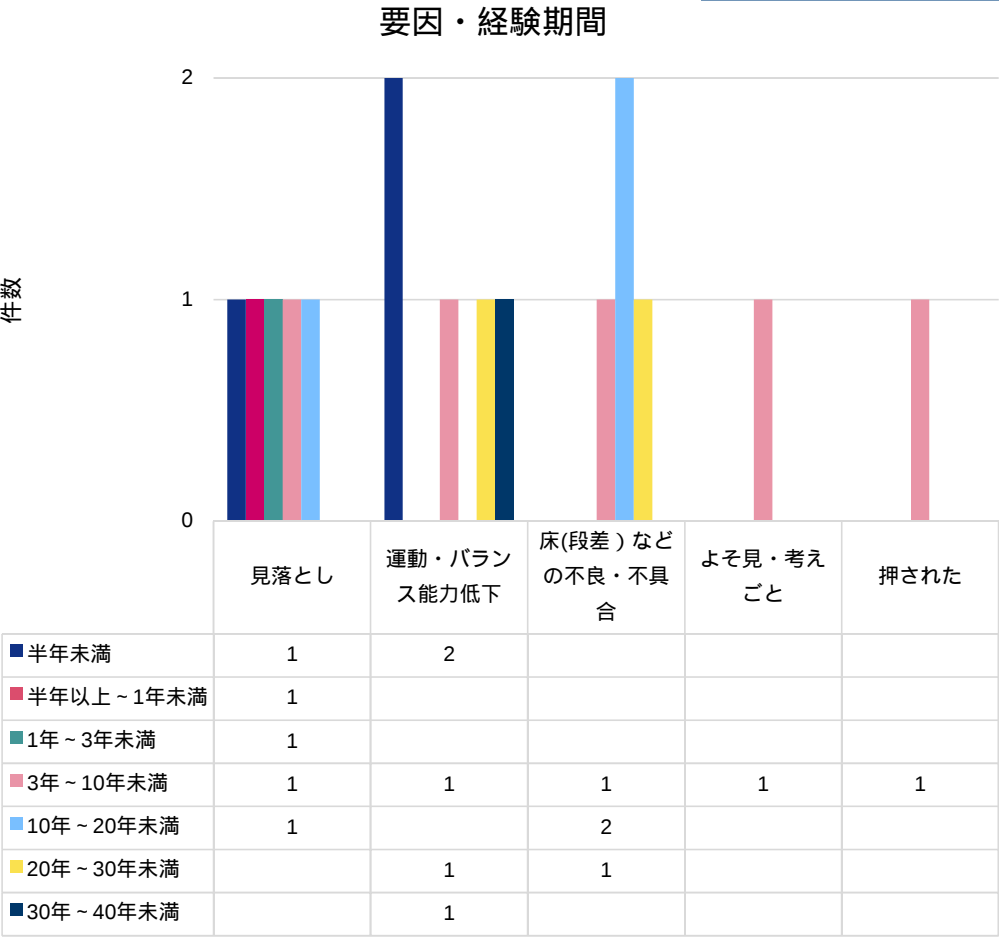
災害発生が多い場所は
通路での転倒災害が多く、滑り、踏み外し
によるバランスを崩した災害が主である

通路での状況は

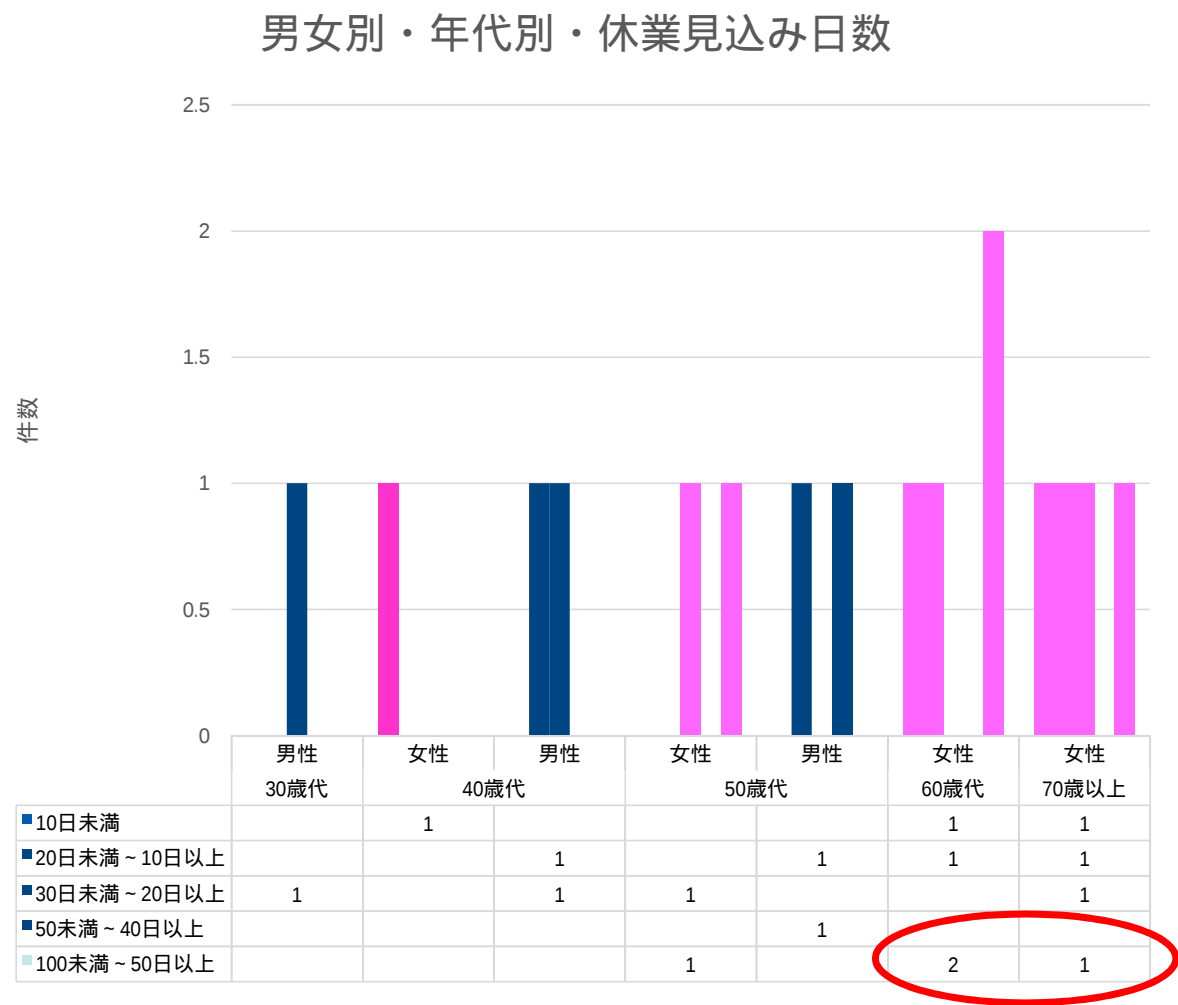
トリガー	状態	要因	通路での状況は
滑り	雨	床(段差)などの不良・不具合	雨に濡れた段差に気づかず
つまづき	ゴミ袋を抱え	床(段差)などの不良・不具合	ゴミ袋を抱えていたことから前が見えず段差につまずく
滑り	滑りやすい歩行面	運動・バランス能力低下	不安定な歩行の中で、縁にぶつける
つまづき	両手不自由	運動・バランス能力低下	両手が塞がっていた
踏み外し	犬が襲い掛かる	見落とし	犬が襲い掛かる不慮の事故

4 . 経験期間別の発生状況

経験期間別の特性は見られず平準している



5 . 男女別・年代別休業日数



特出すべき点は、**高齢者ほど**
休業見込み日数が多い

課題解決の点検項目

高齢・女性の災害
発生率が高い

環境面の改善

運動・教育面の
プロセス追加

通路上での床(段差)などの
不良・不具合

運動・バランス能力低下

見落とし

環境面

- ・ 通路、階段、出入口に放置物がないか（整理、整頓）
- ・ 段差、滑りやすい歩行面がないか（清掃、清潔）

作業面

- ・ 無理な体勢で移動していないか
- ・ 体操など予防運動をしているか
- ・ 4 S（整理、整頓、清掃、清潔）活動の徹底

教育面

- ・ 周りを確認して行動しているか
- ・ 定期的な転倒防止に係る教育

課題解決 対策事例

高齢・女性の災害
発生率が高い

環境面の改善

運動・教育面の
プロセス追加

通路上での床(段差)などの
不良・不具合

運動・バランス能力低下

見落とし

環境面

- ・ リスクアセスメント など
(エイジフレンドリーガイドライン、
エイジアクション100の活用)



作業面

- ・ 転倒予防体操
体力チェック など
(エイジフレンドリーガイドライン)



教育面

- ・ 安全管理者養成講習 など
リスクマップの周知
作成手順の作成



課題解決 管内事業場の取組事例と社会福祉施設における導入例

環境面

- ・敷地内の歩行帯の色分け（塗料は表面に凹凸があり滑りにくいものに変更）
→ 例：駐車場等の歩行帯の色分け
厨房、浴室等の床質改善
- ・スロープ等による段差の解消
→ 例：利用者居室以外の職員用事務室、
通路についても段差をなくす



その他取組事例
（左図）は、以下の青梅署HPより確認できます。↓↓



作業面

- ・作業フローに清掃を組込み、清掃作業を個人任せにしない
→ 例：入浴介助後の浴室の清掃
調理作業における定期的な床面等の清掃
居室、共用部等の定期清掃
- ・50歳以上の労働者を対象に体力チェックを実施し、自分の認識と客観的な体力との違いをセルフチェックできるようにしている
- ・毎朝、始業後に全員参加で3分程度体操を実施している（従来は始業前に任意参加だったが全員参加とした）
→ 例：勤務開始時の転倒腰痛防止体操の実施（交代勤務時を含む）
- ・産業医と連携し、加齢による体力の低下を補う為にオリジナルの体操に変更した

教育面

- ・ポケテナシ運動（ポケットに手を入れて歩行しない、携帯を触りながら歩行しない、手すりを持って階段を昇降する、斜め横断をしない、指差呼称で確認する）を励行している
→ 例：ポスター等の掲示
ミーティング時の注意喚起
- ・指差呼称等の実施率向上のため、構内の横断歩道にモニターを設置し、実施状況を作業者が自ら確認できるようにしている
また、実施状況を点数化し、部署毎に客観的に評価できるようにしている

解決サイクル：Plan-Do-Check-Action でサイクルを回し継続的改善をする

Point!

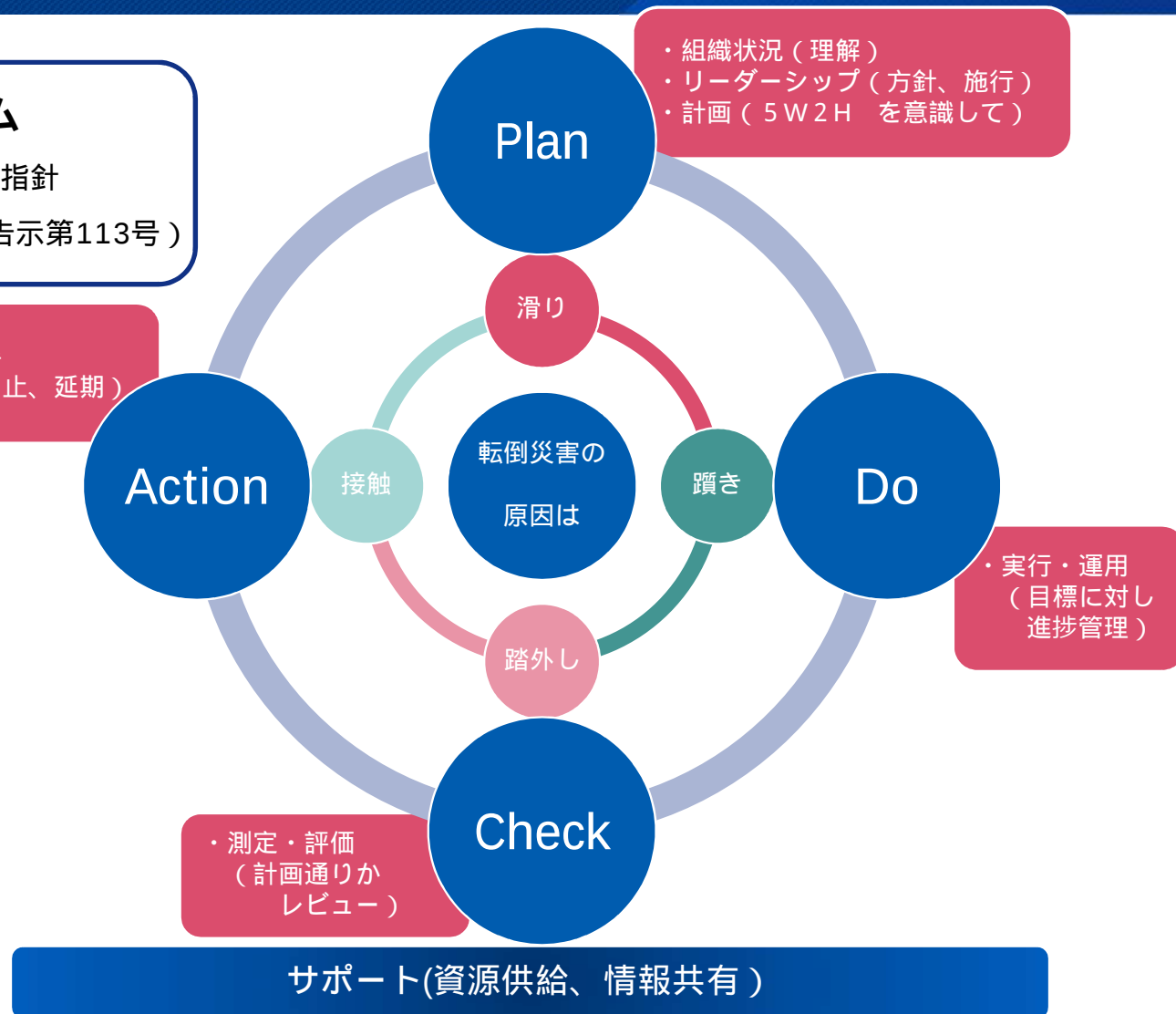
労働安全衛生マネジメントシステム

労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針

(改正 平成18年3月10日付け厚生労働省告示第113号)

5W2H・・・

When	いつ
Where	どこで
Who	だれが
What	なにを
Why	なぜ
How	どのように
How Much	いくらで



効果（転倒災害を減らすことは）

発生コスト（直接／間接）を減らす

- 災害発生に伴う届出、労災申請など労力削減
- 民事訴訟などによる費用・時間の削減
- 保険料率の改定、見直し影響削減

労働環境・意識の向上

- 環境整備に伴う、災害発生削減
- 業務の効率化
- 組織体制の強化

企業価値向上

- CS向上に伴い、企業価値向上
- 社会的信頼性向上



以上の順でまとめました。現場理解のもと改善を進めましょう

(参考資料) 転倒防止対策

STOP! 転倒災害

3つの転倒予防

転倒による労働災害は最も多く、**全体の約25%**
転倒によるケガの約**6割**が休業**1か月以上**のケガです!!

1 作業場所の整理整頓

2 作業場所の清掃

3 毎日の運動

▶ 転倒災害は、大きく**3種類**に分けられます。
皆さまの職場にも似たような危険はありませんか？

滑り

つまずき

踏み外し

厚生労働省では「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。
具体的な対策はこちらをチェック！

厚生労働省 **STOP! 転倒** 検索

あなたの職場は大丈夫？
転倒の危険をチェックしてみましょう！

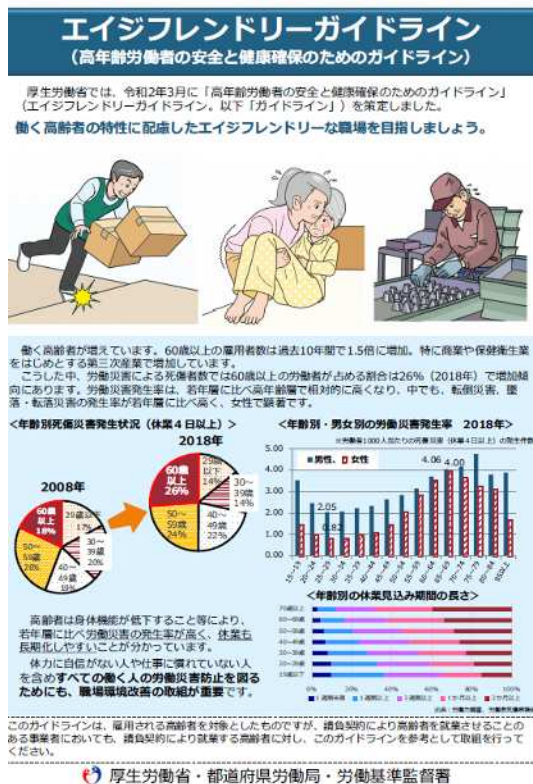
チェック項目	☐
1 通路、階段、出口に物を放置していませんか？	☐
2 床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか？	☐
3 通路や階段を安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか？	☐
4 靴は、すべりにくくちょうど良いサイズのものを選んでいますか？	☐
5 転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか？	☐
6 段差のある箇所や滑りやすい場所などに、注意を促す標識をつけていますか？	☐
7 ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか？	☐
8 ストレッチや転倒予防のための運動を取り入れていますか？	☐
9 転倒を予防するための教育を行っていますか？	☐

チェックの結果は、いかがでしたか？
問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイデアを出し合いましょう！

STOP! 転倒災害WEBサイトのQRコードはこちら↓



(参考資料) 高齢労働者対策



エイジフレンドリーガイドラインに関するHPのQRコードはこちら↓



エイジアクション100に関するHPのQRコードはこちら↓



(参考資料) 転倒腰痛防止体操

転倒・腰痛予防!「いきいき健康体操」

監修 東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター
運動器疾患・リハビリテーション・マネジメント講座 特任教授
医学博士 松平 浩
作成協力 東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター
運動器疾患・リハビリテーション・マネジメント講座 特任研究員
川又 華代

1 手首足首回し

手首や足首を回す動作は日常ほとんどなく、関節が硬くなっていることがあります。また、気温や湿度、あるいは長時間動かずに同じ姿勢でいたことによるむくみの影響で、感覚や動きが悪くなっている場合もあります。はじめに準備運動として末端をしっかりと動かすことで血行を促進しましょう。



CHECK POINT

- ☒ 回す足を半歩後ろに引いているか
- ☒ リラックスして手と足を回しているか

2 股関節回し



年齢とともに体が傾いたり倒れることを感じ取る能力が低下します。バイクでカーブを曲がるように、目や耳など平衡能力を司る感覚器の多い頭部は真っ直ぐにして、体幹の傾く動きをしっかりと意識し感じ取りましょう。



次に、股関節周りの動きをよくしてスムーズな動き出しができるよう左右1回ずつ腰を回しましょう。



CHECK POINT

- ☒ 頭部は真っ直ぐになっているか
- ☒ 身体がねじれていないか

左の資料はネットから

「いきいき健康体操」

で検索いただくとご覧いただけます。

動画掲載のサイトのQRコードは

こちら↓↓



（参考資料）リスクアセスメント

リスクアセスメント実施の詳細については、こちらのパンフレットもぜひご活用ください。



資料はこちらの
QRコードから
ダウンロードで
きます↓



(參考資料) 安全衛生管理全般

安全衛生管理全般について、横断的に理解する際に、以下のリーフレットがお勧めです。

9。 中小規模事業場の安全衛生管理の進め方

労働者が安全で健康に働くことができる職場づくり

整理 整頓
清掃 清潔

労働安全衛生法の目的

労働安全衛生法の第1条では、下記の措置を講ずるなどとして労働災害防止のため総合的な対策を推進し、職場における労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的としています。

(1)責任体制の明確化 (2)危険防止基準の確立 (3)自主的活動の促進

Safe well TOKYO 東京労働局 労働基準監督署

トップが打ち出す方針 みんなで共有 生み出す安全・安心

[illegible]

資料はこちら
のQRコード
からダウン
ロードできま
す↓↓



(参考) Safe Work TOKYO ロゴマークの活用について

労働災害防止活動の推進、事業場内外の安全意識の高揚等を目的とする場合に、法人、個人等のどなたでも自由に利用できます。ぜひご活用ください！！



掲載WEB
サイトのQR
コードは
こちら↓

